

ほぼ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあ、どうした事でしょう?」)

N. Jamoshitan

四十数年ぶりの矢岳高原



今夏、京町温泉に足を運んだ際に矢岳高原を訪れてみました。思い返すと矢岳高原は、高校3年の卒業前にクラス全員で、思い出作りにと列車で訪れて以来の訪問でした。

今でこそオートキャンプ場やパラグライダーのフライトポイントとして人気がありますが、その頃の矢岳高原は霧島連山や田

園風景の眺めは今と同じで絶景でしたが、草原だけが広がっていて、これといって何もないので観光客は少なかったと思います。

子で、こんなに涼しくて過ごしやすいは想像もつきませんでした。また来年の夏も涼みに行くかと思えます。

(まいと)



チヨースンの「よくある話」

撮影・照明機材の変化の巻

最近、服飾店に勤める友人から「撮影機材」について相談を受けました。同時期に取引先様で撮影に関する案件もあり、20年ぶりに写真理論について勉強し直しております。時代の推移で明らかなのは、①フィルムからデジタルへの変化②Amazonによる照明機材の価格破壊と入手しやすさです。フィルム時代は、まさに一発必撮でないとコストがとにかく掛かったので、デジタルになってリスクが大幅に減り、一杯失敗出来る上達し易いと思います。後加工もRAWデータで現像することで、修正もしやすい。ただ、日進月歩の画質・フィルムに代わるセンサーの開発向上には逆らえないところがネックではないでしょうか。照明機材においては、

ブランド品は今でも高額ですが、Amazonを覗くと1/5位の金額で色々揃えられます。特に顕著なのは、写真用照明機材よりも、動画用照明機材が増えていること。写真用は瞬間光、映像用は定常光という言葉がよく使われます。インスタグラムや動画配信用として、個人用から業務用まで幅広いLED製の定常光照明機材が手に入る様になりました。眼の中に輪の様な光が映り込んでいる動画は、LEDリングライト。コロナ禍によるリモート会議用として、パソコンやタブレットに簡単に設置できるLEDパネルライトも人気の様です。

(帖)



レフ板スタンド

背景紙スタンド

ブームスタンド

冒頭の相談をくれた友人には、商品撮影よりも動画配信の方が多く、スマホで撮影するということで「定常光」を勧めま

ランチ野郎 見参!
 「ニンニクの匂いに誘われて・・・の巻」



秘密のケンミンショーで紹介された、びっくり焼肉を食べたいと思い、都城に行きました。

びっくり焼肉は、「びっくり焼亭」、「びっくり亭本家」、「びっくり屋」、「元祖びっくり亭」など色々々な名前の店があるようですが、都城の「びっくり亭本家」が、南福岡駅前に出店したのが最初だそうです。

以前、博多華丸・大吉の博多大吉がテレビで紹介した「びっくり焼亭」は清武町加納にチェーン店があり、ここでは、びっくり焼肉のほかにもつ鍋などもありますが、都城の「びっくり亭本家」は、びっくり焼肉のみです。

都城の「びっくり亭本家」は2017年オープンで店内は綺麗ですが、焼肉とニンニ

クの匂いが充滿して、床は油で少しベタベタした感じがします。

一人前800円から三人前2300円まで選ぶことが出来て、ご飯も小〜特大まで選べます。

妻は一人前とご飯小サイズ、私は一人前半でご飯大サイズを注文しました。最初のご飯は価格に含まれているようなのですが、おかわりは有料になります。

鉄板を斜めに傾けて、木の棒を敷き、キャベツと肉汁の溜まった部分に秘伝の赤みそを溶いて、それにつけて食べると最高に旨くてご飯が足りなくなるので、最初に注文するご飯は大きめを頼んだほうが良いかもしれません。(大)



いんちきクワイマーが行く!
 「夏木山(なつきやま)編」

夏だから、夏木山に行く。大分県佐伯市と宮崎県日之影町にまたがる山。夏木山を調べると、ノコギリ尾根というキーワードが出てくる。それが見たくて、タイムリングを狙ってました。山の日連休。あいにく台風の接近で天気は不安定。天気予報は雨のち晴れ。朝五時、ジムニーで出発。大分との県境から国道を折れて、クネクネ林道をひたすら上がっていく。8時前に、夏木新道登山口へ到着。もうぐったり。げげ、フロントガラスにアブが団体様でたかってくる。ザックをつかみサツとクルマを降りて駆け出す。アブはついてこない。ホッとす。結局この後ずっと下山までアブに悩まされて数カ所やられたのですが。

林道を歩き、犬流れ登山口から夏木山に入り、夏木新道へ下山とします。初めての山は、期待と不安が心の中でせめぎ合います。あーどうしようか、やめよかな、帰ろうかな...と考えつつ、足はブンブン登っていくという変態の世界ですね。

さて、この夏木山、雨の中の山歩きとなり、景色を楽しむことはできませんでした。アケボノツツジやシャクナゲの時期なら素晴らしい山。そして、気になっていたノコギリ尾根。核心部分の岩峰はスリル満点。間違っても雨の日に行くところではなかったです。落ちたら確実に死ぬな...と恐怖を覚えました。

そして、久しぶりに怪我をしました。濡れた岩ですべて10m程落ちました。骨折は免れたのですが、擦過傷がひどく、救急セットで止血して足を引きずりながらの登山で



この上から落ちました。よく無事で済んだもんだ。

した。今回、運よく、最後まで歩けましたが、鹿の背という難所で落ちたらどうなっていたか。ぞっとします。

ノコギリ尾根は、いやになるほど繰り返すアップダウン。ケガもあり、もう折れる寸前の心。でも歩かないと帰れないわけでした。追い込まれて半べそかきながら、鍛えなおしていただきましたよ。(賢)



ここが最大の難所、「鹿の背」。崖をのぼり、頂点をまたいで降りていく。チビるぜ。

編集後記

私が毎回書かせて頂いている「ランチ野郎」ですが、コロナの影響で、最近では県外に行けなくて、近郊の紹介になっていきます。スマホに保存している写真を何気に見ていたら、まだコロナという言葉が聞いている今、熊本県北町にある「道の駅たのうら」の地産地消レストラン「たばくまん」で太刀魚の刺身と太刀魚丼を食べていました。太刀魚は淡泊なのですが、初めて美味しいと思いました。早く、気兼ねなく県外に行けることを願います。(大)

